

波多野 容子 氏 (株式会社ハタノシステム会長) 平成30年春の黄綬褒章を受章



褒章の伝達を行った消防庁長官の稲山博司氏

平成30年春の叙勲、平成30年春の外国人叙勲、第30回危険業務従事者叙勲（平成30年4月発令）及び平成30年春の褒章について、内閣府により平成30年4月29日付けで発令されました。そのうち、平成30年春の褒章は、715名の方々が受章されました。褒章別受章者数の内訳は以下のとおりです。（かっこ内の数字は、女性の受章者数で内数）

平成30年春の褒章受章者は、紅綬褒章の受章者6名（0名）、緑綬褒章の受章者41名（16名）、黄綬褒章の受章者171名（15名）、紫綬褒章の受章者28名（8名）、藍綬褒章の受章者469名（172名）。合計715名（211名）が受章されました。

消防庁推薦分の平成30年春の褒章受章者については、消防用設備等の普及の功績が顕著な者に対し、黄綬褒章が7名、紅綬褒章が4名、藍綬褒章が95名の合計106名が受章されました。

自家発電設備の業界からは、永年にわたり内発協の理事を務められた、株式会社ハタノシステム会長の波多野容子（はたの・ようこ）氏が「黄綬褒章」を受章されました。

なお、5月15日（火）午後1時55分から午後2時25分まで、東京都千代田区麴町6丁目の東京消防庁スクワール麴町において、平成30年春の褒章受章者（消防庁推薦分）の「褒章伝達式」が行われました。波多野氏を含む受章者本人86名及び配偶者69名。合



波多野氏（中央）、今永会長（右）、小林事務理事



黄綬褒章の記念品の表面（左）と裏面

計155名が臨席されました。

当日の伝達式の会場では、冒頭、消防庁職員の司会者が開式の辞を述べました。続いて、総務大臣の野田聖子氏の代理として、消防庁長官の稲山博司氏により「紅綬」「黄綬」「藍綬」の3種類の褒章種別ごとに褒章の伝達が行われました。

また、来賓祝辞として、公益財団法人日本消防協会会長の秋本 敏文氏、一般財団法人全国消防長会会長の村上研一氏がそれぞれの立場から祝辞を述べました。さらに、受章者代表が謝辞を述べた後、司会者が閉式の辞を述べて、平成30年春の褒章伝達式はすべて終了しました。

その後、受章者本人86名及び配偶者69名の全員が、専用バスで「皇居」に移動して、午後4時50分から行われた「拜謁式」及び「記念撮影」に臨席されました。